



ヒト幹細胞情報化推進事業『SKIP』Stemcell Knowledge & Information Portal

SKIP #29 Mini-Symposium ~Cutting Edge of Cancer Stem Cells Biology~

〈共催〉橋渡し研究加速ネットワークプログラム
慶應義塾大学「革新的医療実現のための非臨床・臨床一体型の橋渡し研究拠点」

トランスレーショナルリサーチセンターセミナー #3

2016年3月15日(火)
13:00-18:00

場所：慶應義塾大学信濃町キャンパス
160 - 8582 東京都新宿区信濃町35
総合医科学研究棟1階ラウンジ



一般公開/参加無料 お申込み：SKIP HPよりお申込みください
<http://www.skip.med.keio.ac.jp/frontline/skipseminar/index.html>

講演：

大畑 広和 (国立がん研究センター研究所)
ROCK阻害剤によるがん幹細胞性維持機構の解析

木村 奈津子 (東京大学)
増殖因子受容体アダプター蛋白FRS2βによる
癌幹細胞とニッチ制御の分子機構

今野 雅允 (大阪大学)
消化器癌治療抵抗性癌幹細胞の代謝制御

昆 俊亮 (北海道大学)
多段階発がんにおける細胞競合の役割

大西 伸幸 (慶應義塾大学)
神経幹細胞へのがん遺伝子導入による
ex vivo/in vivo 脳腫瘍モデルの構築ならびに解析

合山 進 (東京大学)
RUNX1-F2R経路による白血病幹細胞制御

岡本 康司 (国立がん研究センター研究所)
大腸がん進展過程における細胞多様性の解析

主催：
厚生労働省委託事業「ヒト幹細胞情報化推進事業」SKIP
事業担当者：
小崎 健次郎 (慶應義塾大学医学部 臨床遺伝学センター教授)
増井 徹 (慶應義塾大学医学部 臨床遺伝学センター教授)

共催：
橋渡し研究加速ネットワークプログラム
慶應義塾大学「革新的医療実現のための非臨床・臨床一体型の橋渡し研究拠点」
佐谷 秀行 (慶應義塾大学医学部先端医科学研究所 遺伝子制御研究部門教授)
協力：
文部科学省科学研究費新学術領域研究 がん研究分野の特性等を踏まえた支援活動
お問い合わせ：
慶應義塾大学医学部 幹細胞情報室 <https://www.skip.med.keio.ac.jp/contact/>

今野 雅允

大阪大学大学院医学系研究科
 消化器癌先進化学療法開発学 助教



消化器癌治療抵抗性癌幹細胞の代謝制御

癌組織は多様な細胞集団であり、その中には癌幹細胞が存在すると考えられている。この癌幹細胞は自己複製能、分化能、造腫瘍能、浸潤転移能及び治療抵抗性を持つ細胞であり、癌の悪性形質を産み出す根源であると考えられている。従って、癌幹細胞を知りその制御を自在に行う技術の開発は癌の根絶に繋がり、非常に重要な課題であると考えられている。私たちは消化器癌、特に膵癌、大腸癌の治療抵抗性癌幹細胞に注目し特異的代謝制御機構の解析を行った。その結果癌幹細胞は効率的にエネルギー産生を行いつつ、その際副産物として産生される細胞障害性活性酸素を低減させるシステムを巧みに利用して生存していることが明らかとなった。本講演ではこの癌幹細胞特異的代謝システムについて議論したい。

略歴

2005年 横浜市立大学理学部環境理学科卒業
 2007年 横浜市立大学大学院国際総合科学研究科理学専攻修士課程修了
 2011年 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科博士課程修了
 2011年 博士(医学) (東京医科歯科大学) 取得
 2010年8月～2012年3月
 国立国際医療研究センター研究所細胞組織再生医学研究部 研究員
 2012年4月～現在
 大阪大学大学院医学系研究科消化器癌先進化学療法開発学 助教

